

Joyful Male Chorus(JMC)
合唱団『男声合唱を楽しむ会』

第13回サロ ン コンサート



指 揮 : 向川原 慎一
ピ ア ノ : はやせ ようこ
司 会 : 伊藤 春雄
賛助出演 : JMC サポーターズ

2018年10月8日(月・祝)
開場 13:30 開演 14:00
名古屋市芸術創造センター

主催 合唱団『男声合唱を楽しむ会』
<http://www.tanosimu-dg.org/>

後援 名古屋市教育委員会
愛知県合唱連盟
朝日新聞社

ごあいさつ



会長 大嶋 順治

本日は、第13回サロンコンサートにご来場いただき、誠にありがとうございます。サロンコンサートを本年も開催し、皆様にお会い出来ますことを嬉しく思います。日頃私たち、男声合唱を楽しむ会の活動をご理解いただき、ご指導・ご支援して下さい皆様方のお陰と心から感謝しております。

人間は、どんな事に試み挑戦しても、年齢に関係なく「伸びしろ」は有ると思います。一人ひとりが少しでも進化・成長を続けることで、合唱団としてさらに素晴らしい音楽を作り上げることが出来ると日々活動しています。

本年も新しいメンバーが加わりステージに上がり元気に歌います。我団は、創立以来、腹から声を出して歌うのが好きで合唱経験のない初心者も大歓迎で迎えて来ました。一緒に歌う楽しさを皆で味わいたいと思っています。音楽監督のていねいで地道な指導のもと基本的な発声やパート毎の練習も行っており、徐々に合唱が出来上がって行くのを楽しんでおります。ほんの少しでもやってみたいな一と思われた人は、今です。

本日のステージは、男声合唱とピアノのための「啄木短歌集」、コダーイ「男声合唱曲集」そして「歌のイタリア旅行」を演奏します。啄木短歌集では啄木の故郷への思い、友、青春、病などの心境を歌います。歌のイタリア旅行は、イタリア各地の皆さん良くご存じの曲を男声合唱、女声合唱、混声合唱で歌い、イタリアらしく明るく楽しく一緒に旅して行きます。

当会では毎年、女声合唱と混声合唱を組み入れています。本年も混声合唱団「レ・マーニ」有志の皆様、女声合唱団「ゆりの会」有志の皆様、「愛知万博ファミリー合同練習会」の皆様「JMCサポーターズ」としてご協力いただきステージを華やかに盛り上げていきます。

どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

あゆみ

男声合唱を楽しむ会は、かつて職場などで経験した合唱の楽しさをもう一度味わおうと、2003年(平成15年)に結成され、2005年の「愛知万博・おまつり広場」で初めて公演を行いました。初心者からベテランまでの幅広い年齢層による一般の男声合唱同好会として、月2回の練習例会と年1回の公演活動を行っています。

毎年行っている春の創立記念合宿、8月の夏合宿を始め、新年会、折々の懇親会など、年齢を忘れて合唱活動を楽しんでいます。

◎主な活動

- 2003年4月に第1回設立準備委員会開催。同年6月に第1回練習を開始。
- 2004年8月に「音の交流会」を三菱重工健保会館で開催。
- 2005年9月に「愛知万博・おまつり広場」公演に出演。開催期間中唯一の入場制限がかかる。
- 2006年8月に「第1回ファミリー合同練習会」を名古屋市音楽プラザで開催し、2007年8月からは「サロンコンサート」と名称を変え、第6回(2011年)から会場を熱田文化小劇場に移し、以降も毎年秋にコンサートを開催。
- 2013年9月に創立10周年記念(第8回)コンサートではピアノ・弦楽5重奏で『歌ものがたりー歌と共に生きる』を、2014年10月(第9回)では「ミュージカル」を、2015年10月(第10回)には会場をここ名古屋市芸術創造センターに移して「合唱で聴くオペラ曲集」を演奏。
- 2016年9月(第11回)には「新実徳英作品集」を、2017年10月(第12回)には大中恩の「走れ わが心」をメインステージにすえて本会場にてコンサートを開催。

プログラム

◆ 第1ステージ

指揮：向川原 慎一
ピアノ：はやせ ようこ

曲名	作歌	作曲	編曲
男声合唱とピアノのための 啄木短歌集	石川啄木	高田三郎	須賀敬一
I やわらかに	II 頬につと	III いのちなき	IV 病のごと
V 不來方の	VI ふるさを	VII はずれまで	VIII あめつちに

註：不來方(こずかた)

◆ 第2ステージ

曲名	作曲	訳詞
コダーイ男声合唱曲集	ZOLTÁN KODÁLY	清水脩
1. 孔雀が飛んだ 2. ひとりもの 3. 兵士の歌 *1 *2		

◆ 第3ステージ

My song / Your song みんなで歌おう！

曲名
YOUNG MAN (Y.M.C.A.)

=休憩(15分)=

◆ 第4ステージ

『歌のイタリア旅行』

編曲 向川原 慎一

曲名	作詞	作曲	訳詞
序曲～ 《男声合唱》 ゴッドファーザー 愛のテーマ *1		N. ロータ	千家 和也
《女声合唱》 私のお父さん		G. Puccini	鼓 あかね
ロミオとジュリエット	L Kusi, E. Synder	Nino Rota	
《男声合唱》 遙かなるサンタルチア		E. A. Mario	伊庭 孝
マレキアーレ		P. Tosti	畑中 良輔・更予
フニクリ・フニクラ		L. Denza	青木 爽・滑野 協
忘れな草		E. D. Curtis	音羽 たかし・あらかわ ひろし
《混声合唱》 ヴェニスの日		A. Ien	鼓 あかね
ヴォラーレ *2		D. Modugno	鼓 あかね
夢見る想い		M. Panzeri & P. Nisa	あらかわ ひろし

*1 トランペット 山本 康平 *2 スネアドラム 植田 光紀

出演者紹介

指揮 向川原 慎一



この「男声合唱を楽しむ会」をはじめとして、9団体の合唱指揮・指導、講師を務めている。

指導している団体用の編曲のみならず、各団特有の事情に合わせた室内楽や、合唱の編曲依頼をこなし、歌曲を中心とした作曲活動では、2007年の奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門(中田喜直賞の部)で谷川俊太郎の詩「はる」に作曲した作品が最優秀賞を受ける。小林研一郎氏に師事。

ピアノ はやせ ようこ



愛知教育大学音楽科、同大学院修了。在学中より演奏活動を始め、以来、名古屋二期会・名古屋オペラ協会・名古屋市文化振興事業団・愛知県文化振興事業団・三重オペラ協会・岐阜県産業文化振興事業団・名古屋芸術大学・長久手オペラレクチャーコンサートなどで多数のオペラ・オペレッタ・ミュージカルの稽古ピアニスト・コレペティトゥーア・ピアノ公演ピアニストを務める。伴奏ピアニストとして活動する傍ら、コーラス指導も手がける。また名古屋芸術大学では長年にわたり、オペラの授業助手を担当。

トランペット 山本 康平



名古屋芸術大学音楽学部演奏学科弦楽打コースを首席で卒業。同大学大学院音楽研究科器楽専攻(管楽器)2年在学中。トランペットを近藤万里子、星順治の各氏に師事。在学中に室内学の夕べ、卒業演奏会に出演。第39回読売中部新人演奏会、第29回岡崎新人演奏会、第17回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。2016年岐阜国際音楽コンクールにて文化人特別賞受賞。これまで名古屋フィルハーモニー交響楽団、愛知室内オーケストラに客演。

スネアドラム 植田 光紀



3歳よりピアノ、10歳よりマリンバを始める。

名古屋芸術大学を卒業

在学中、セントラル愛知交響楽団と共演

卒業演奏会、新人演奏会に出演

現在、同大学大学院2年在学中

これまで、故石田まりこ、白川和彦、藤井里佳、各氏に師事。

司会 伊藤 春雄



三菱重工業株式会社 名古屋航空宇宙システム製作所に入社。

退社後、東海ラジオ『さん！さん！モーニング』を始め、岐阜放送、CBCラジオなどで、数多くのパーソナリティを務める。

また鈴鹿サーキットで30年以上にわたって、F1をはじめフォーミュラニッポン等のレースアナウンサーを担当。最近ではマイクを鍬に替えて畑仕事にハマっている。

◆ 賛助出演:JMCサポーターズ名簿

【ソプラノ】

天野 千代(レ)	石井 順子(ゆ)	伊藤はるみ(J)	内川富美子(レ)	大河内美栄子(ゆ)
尾澤 雅子(レ)	片山さよみ(レ)	斎藤美代子(J)	杉岡智恵子(ゆ)	高橋 夏子(J)
田中加奈子(J)	中村 悦子(J)	西川 雅子(ゆ)	野上あや子(J)	間宮 幸子(J)
吉田 玲子(J)				

【メゾソプラノ】

伊東 弥生(ゆ)	岩崎 芳子(J)	大平恵美子(ゆ)	大藪 長子(レ)	小林 園子(レ)
鈴木 和美(ゆ)	鈴木 千春(ゆ)			

【アルト】

栗本 典子(ゆ)	黒川 福子(J)	高田 幸子(J)	長橋千鶴子(J)	野村 知子(ゆ)
加地 純子(ゆ)	野邑サチコ(J)	橋本 益子(J)	古一 令子(J)	吉村 理子(J)

【ベース】

玉井 大雅(J)

所属団体略号:(レ)混声合唱団 レ・マーニ (ゆ)ゆりの会 (J)愛知万博／ファミリー合同練習会

◆ 賛助出演団体 プロフィール

混声合唱団 レ・マーニ

1996年発足・1998年に第1回演奏会。2014年に第6回演奏会を行う。

これまでに、ウーヴェ・コミシュケトランペットコンサート、タイムファイブクリスマスコンサート、レ・マーニ7周年コンサート～テノール二神二郎氏を迎えて～、畑儀文ジョイントコンサート、レ・マーニ20周年祝賀コンサートなど数多く出演。また、合唱祭イン TOGO に毎年参加するなど、地域に根ざした活動を行っている。

ゆりの会

金城学院大学グリークラブOGにより2000年に結成。当初より向川原先生にご指導を仰ぎ、2007年から早瀬先生をピアニストに迎え、更に美しいハーモニーを目指して練習に励んでいる。

サロンコンサートへの賛助出演の機会を得られ、毎年大編成での混声合唱を楽しませて頂いている。3回目となる今年は11名が参加する。

愛知万博／ファミリー合同練習会

職場合唱時代の仲間や、会員の家族またはその知り合いで構成されており、2005年の愛知万博公演に出演したのを契機として、2006年に第1回ファミリー合同練習会に参加。その後、熱田文化小劇場で行った第6回サロンコンサート以降、毎回出演しており、このステージを楽しみにJMCの活動を見守ってサポーター役を努めている。コンサートが近づくと結成され、会員を常に募集しています。



練習風景(混声合唱) 於：大府市勤労文化会館(夏合宿)

演奏曲について

第1ステージ 啄木短歌集

この曲は、石川啄木の短歌集「一握の砂」、「悲しき玩具」の中の8首を、1956年の啄木生誕70周年の集いに際し、独唱曲として高田三郎が作曲したもので、その後、合唱曲に編曲され、1988年、豊中混声合唱団により初演された。男声合唱版は、須賀敬一が東海メールクワイヤーのために編曲したものである。

石川啄木は、1886年、岩手県南岩手郡日戸村（現：盛岡市日戸）で生まれ、神童と言われるほど優れていた。16歳で文学を志して上京したが、健康を害し帰郷。19歳で第1詩集「あこがれ」を刊行。22歳で再度上京し、24歳で「一握の砂」（22歳から24歳の作品を収録）を刊行、25歳で肺結核を発症し、1912年26歳の若さで亡くなった。その年に「悲しき玩具」（「一握の砂」以後の作品を収録）が発刊された。

短歌の鑑賞は、眼で読む黙読から声に出して読む音読、節をつけて朗々と歌う朗詠へと進むにつれて、音・歌として聞くことで、鑑賞の度合いは深まり、更に旋律・リズム・ハーモニーから成る楽曲とすることで、その鑑賞はさらに深みを増して行くと考えられる。なお、この曲は作曲者の高田三郎の説明によると、短歌鑑賞に際して複数回読み返す氏の習慣を反映して2回繰り返して歌われる。ただ、第6曲は最後のピアノが閑古鳥の鳴き声を暗示して終わるので、繰り返されない。（生越英三）

なお、この8曲の曲名には歌い出しの五文字が使われていますが、今回の練習を進める途中で、私たちは全員それぞれに自分なりの曲名をつけることを試みました。いろいろな解釈や思いによる曲名をみんなで並べ比べて投票した結果、下記のように集約しました。私達独自のタイトルをご紹介します。

<歌い出し>	<タイトル>	<歌い出し>	<タイトル>
1：やわらかに	→ 望郷	5：不來方の	→ 十五の心
2：頬につとう	→ 忘れえぬ人	6：ふるさとを	→ 帰郷
3：いのちなき	→ さらさらと	7：はずれまで	→ 長廊下
4：病のごと	→ 思郷	8：あめつちに	→ 秋の夜

第2ページ コダーイ男声合唱曲集

作曲者のゾルタン・コダーイ（1881-1945）はフランツ・リスト（1811-1886）、ベーラ・バルトーク（1882-1967）と共にハンガリーを代表する作曲家。コダーイはバルトークと共にハンガリー民謡の蒐集・研究に取り組み、作曲家としてだけでなく、民俗音楽学者、また音楽教育者でもあった。その作品は管弦楽曲の「ハーリ・ヤーノシュ」や「孔雀」、「ガランタ舞曲」などが有名だが、合唱曲も多数作曲している。夫々の作品にはハンガリーの民族音楽が色濃く反映されている。今日演奏するア・カペラ（無伴奏）の3曲も、3部合唱で譜面づらはさほど難しくなさそうに見えるが、民族音楽っぽいメロディや現代音楽にもつながる独特な和声などで、我々も練習に苦戦を強いられた。

1 孔雀が飛んだ

ハンガリー民謡「孔雀は飛んだ」をベースとして作られている。孔雀は彼らにとって自由の象徴である。この民謡は、かつてオスマン帝国の支配下に置かれたマジヤール人（ハンガリー人の自称）を囚人になぞらえ、彼らの自由への情熱を歌った曲である。

2 ひとりもの

ひとり者は寂しい時もある。そこでお嫁さんはどういう人が良いかとケーススタディをするが、「結婚して後悔するかもしれないので、慌てない方が良さそう。」という結論に達する。何たってひとり者は気楽だし。

3 兵士の歌

兵役に付いている一人の男が、故郷に残してきた愛しい娘を思い「恋しいあの娘に会えない」と嘆く。曲の途中から歌詞は掛け声に変わり、トランペットとドラムが入る。

3年が過ぎ、もう少しで兵役が終わる。もうすぐ家に帰ってあの娘に会えるぞ！！

(黒尾純一)

第4ステージ 歌のイタリア旅行

「カンターレ！アモーレ！マンジャーレ！」「歌って恋して食べて！」その順序はともかく、イタリアのお国柄を表す有名な言葉です。そんな歌の国＝イタリアのオペラ、民謡、ポピュラー音楽、映画音楽など、多彩な魅力あふれる歌の数々を、ゆかりの土地と関連付けながらお聴き頂きます。

しばし地図と見比べながら旅行気分を味わって下さい。

ゴッドファーザー、愛のテーマ →[シチリア島]

1972年公開のアメリカ映画。映画史上に残る傑作のテーマ音楽です。コッポラ監督、主演はマーロン・ブランド、そして作曲はニーノ・ロータ。

私のお父さん →[フィレンツェ]

プッチーニ作曲のオペラ「ジャンニスッキ」からの有名なアリア。「大好きなあの人と結婚させてくれなきゃ、私あの橋から飛び込んだじゃうから」と父親に懇願します。

ロミオとジュリエット →[ヴェローナ]

シェイクスピアの名作。何度も映画化されましたが、この曲は1968年に製作・公開されたもの。

16才だったオリヴィア・ハッセーの可憐さが目に浮かびます。

遙かなるサンタルチア →[ナポリ]

有名なイタリア民謡はほとんどがナポリ民謡。サンタルチアの港は歌の題材としてもよく歌われます。ナポリから遠い国へと渡っていく寂しさを切々と歌います。

マレキアーレ →[ナポリ]

1846年生まれのトスティの歌曲で、マレキアーレというのはナポリ近郊の海岸リゾート。バルコニーの彼女に向かって、情熱的に訴えるセレナーデ。

フニクリ・フニクラ →[ナポリ]

1880年ナポリ湾にそびえるヴェスヴィオ火山の山麓から火口まで登山電車(フニコラーレ)が開通しました。これを記念して作られた歌(いわゆるコマーシャルソング)です。

忘れな草 →[ローマ]

この曲は1935年のイタリア映画「忘れな草」の主題歌としてエルネスト・デ・クルティスが作曲しました。「帰れソレントへ」の作曲家でもあります。

ヴェニスの日 →[ベネチア]

これも1955年の映画音楽でキャサリン・ヘップバーン主演の「旅情」の主題歌です。

ヴォラーレ →[サンレモ]

1951年以来毎春開催されるサンレモ音楽祭は、新作のカンツォーネが発表されて順位を競うコンクールで、1958年の優勝曲がこれ！アメリカでミリオンセラーを記録しました。1964年の優勝曲「夢みる想い」も挿入して歌います。

(向川原慎一)

◆ 合唱団「男声合唱を楽しむ会」

役員

会長：大嶋 順治 総務：岩崎 幸男 会計：植田 速雄
渉外：岩田 照雄 広報：木村 幹夫 石田 重夫 楽譜：木村 幹夫
パートマネジャー 山田 茂樹 (T1) 山中 清 (T2) 島津 和久 (B1) 武田 睦夫 (B2)
パートリーダー 吉田 成吾 (T1) 横井 邦明 (T2) 塚原 徹也 (B1) 武田 睦夫 (B2)

出演者

【トップ】

青島ゆみを 井田 三郎 伊藤 和久 岩田 照雄 野々田 博 三宅 宏幸
山田 茂樹 吉田 成吾

【セカンド】

植田 速雄 大河内康二 末近 邦彦 炭田潤一郎 林 光明 堀尾 貞臣
水野 勇 山中 清 横井 邦明

【バリトン】

石田 重夫 伊東 猛 伊藤 晴男 今井 正彦 岩崎 幸男 澤田 泰弘
島津 和久 塚原 徹也 福井 敏 森田 潤三 矢代 廣志 吉村 洋和

【ベース】

遠藤 恭之 大嶋 順治 生越 英三 城戸 俊輔 木村 幹夫 黒尾 純一
武田 睦夫 渡辺 善久

♪♪♪ 会員募集中 いっしょに歌いませんか？ ♪♪♪

練習日：月2回（第2、4土曜日 13:00～16:30）
練習場所：名古屋市音楽プラザ(金山) 大リハーサル室 他
会費：3,000円/月(学生無料)
入会金：1,000円
会の理念：歌をこよなく愛し、何時までも若々しく、お互いが
お互いを理解し合い、歌を通じて健康で明るく
豊かな人生を送る。
会の目標：より深く、熱い情熱を持って自分たちの音楽を
模索し続け、他に類のない合唱団を目指す。
問合せ先：岩田照雄(090-5094-4773)



2018年8月夏合宿



◆ 第14回サロンコンサートのお知らせ ◆

- ・日時:2018年10月(予定)
- ・場所:名古屋市芸術創造センター(予定)
- ・プログラム:音楽スタッフを中心に検討中